

BRM611 那須 600 試走レポート (荒木)

5月28~29日の土日でBRM611 那須 600の試走へ行ってきましたので、簡単にレポートします。

試走当日の天気は、28日は曇りで涼しく風も一部向かい風ながら強くは吹かず走りやすいコンディション、29日は晴れて暑く後半向かい風がきついという条件でした。

気温は夜中は山間部で10度を下回り、日中は30度くらいまで上がりました。当日もこのくらいの寒暖差を想定した装備は必要かと思います。

スタートからPC4までは平坦基調、PC4から那須の通過チェックまでが山岳ステージ、そこからは下り基調、最後につくばの山を登って平坦になります。あくまでも基調です(笑)

スタート地点の船橋港親水公園をAM6:30にスタート、最初の30kmくらいまでは3月の鴨川200と同じコースです。その後、長柄への登りのところは短い登りですが路肩狭く車も多いのでフラつかないよう注意してください。長柄を過ぎればあとはPC1まで比較的走りやすい道です。

#29「一松海岸入口」交差点は左折となっていますが、実際にはそのまま真っ直ぐ横断歩道を渡ってPC1のファミリーマートです。

PC2までは他のブルベでもおなじみの九十九里ビーチライン、この日はほぼ無風で銚子ドーバーラインも風力発電風車が止まっているくらいの走りやすさでした。



PC2のコンビニには#29の交差点の手前から入れます。

PC2を出て銚子大橋を渡りますが、写真のとおり路肩狭く交通量多いので、不安な方や風が強いときは反対車線側にある歩行者・自転車道を推奨します。



あとは PC3 大洗まで特に問題ありませんが、#37 の左折ポイントを通り過ぎてしまうとコース復帰が大変だと思うので要注意です。

余裕があればグルメスポットは銚子、大洗あたりの海鮮でしょうか。

PC3 を出ですぐに大きな鳥居を右折してくぐります。



日立市に入ると地味にアップダウンが続き交通量も多くなるので注意して頑張りましょう。

PC4 は小さい坂を登った右手のセブンイレブンです。

コースを外れますが、PC4のすぐ先の信号を右折して2kmほどの所に24時間営業の「いわき健康センター」があります。私はそこで風呂に入って2時間半仮眠をしてリフレッシュしました。たまたまかもしれませんが仮眠室も空いていたのでお勧めです。ただしあまり長居すると次のPC5のクローズ時間に間に合わなくなるので注意です。夜12時から深夜割増料金を取られるので、その前に出るとちょうど良いと思います。

PC4からはいよいよ山岳ステージ、まずは600m級の山ですがピークが4つあります。外灯など全く無く真っ暗ですので明るいライトとヘルメットライト推奨です。#53の左折ポイント、下り坂の途中にありますので通りすぎに注意です。(自分も行き過ぎました。)山奥ですがところどころ集落があって自販機もあり飲み物は補給できます。試走時はこの区間は霧が出てアイウエアが水滴で曇り、霧で視界も悪いので下りもスピード出せませんでした。また笛のような鳴き声の鹿がたくさん鳴いていました。姿は見ませんでしたが夜行性なので道路への飛び出しには注意してください。

PC5の白河辺りにはビジネスホテルやネットカフェなどがあるので、ここも仮眠スポットです。

PC5からは那須へ向かって800m弱の登り、最初10kmくらいは緩い登りですが、そこからぐわっと登り、通過チェックポイントまで大きなアップダウンが3回くらいあります。きついながらも春蟬の鳴き声を聞きながら早朝の新緑のヒルクライムは気持ちよかったです。登り返しの下りは急で対向車も来るので、絶対に対向車線にはみ出さないようスピード出しすぎには注意です。

通過チェックの恋人の聖地展望台、晴れていれば那須の山と遠くまで景色が見えて絶景です。ここはフォトコントロールポイントなので、恋人の聖地ということがわかる場所で写真を撮ってください。トイレもあります。





展望台からの下りも急で対向車多いので、絶対にカーブで対向車線にははみ出さないようにスピード控えめ安全運転で下ってください。この辺りは硫黄のにおいがぷんぷんします。

通過チェックの那須関谷店、PC6 那須烏山店までは下り基調ですので、PC5 への到着がぎりぎりです。那須の山登りに多少時間がかかっても大丈夫だと思います。

PC6 からは高くはないですがアップダウンがじわじわ続きます。試走のときは気温も上がって暑くて大変でした。

PC7 からは最後のつくばの山越え、風返し峠は標高 400m ほどですが 500km 以上走ったあとなので、最後の登り頑張っ峠を越えましょう。



峠の上は道が複雑な形状ですが、信号を右折して写真の風返し峠看板のあるほうに下っていきます。峠からの下りは観光客の車も多いので気をつけてください。

最終 PC8 からは次第に市街地になって交通量も増えます。試走時はこの区間は吹きさらしの向かい風が強くて大変でした。最後疲れていると思いますが、渋滞している場所で荒れた路面にハンドルを取られたりしないよう安全運転で帰ってきてください。

ゴールのコンビニは 5 月の奥久慈 400 のときよりも 1km ほど手前のセブンイレブンです。

ゴール受付は、そこからさらに 2km ほど走りますがスタート地点の船橋港親水公園です。

試走では前半で貯金を作って健康センターで仮眠し、疲れをとって山を越えられたのが勝因だと思います。当日の天候や風向きなどによってはきついコースになると思いますが、以上参考に色々作戦をたてて臨んでください。

走行タイム

PC1 8:50

PC2 11:41

PC3 15:39

PC4 19:30

PC5 4:03

通過チェック 8:37

PC6 10:51

PC7 13:13

PC8 16:15

ゴール 20:24

合計 37時間54分